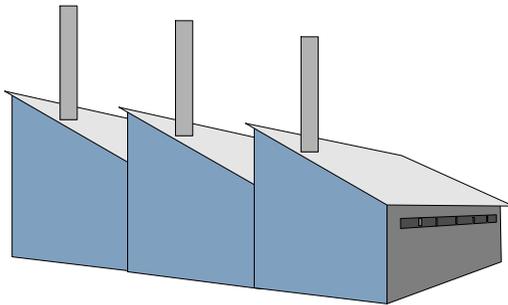


## 1. 産業活性化特区

### 東大阪市モノづくり再生特区【大阪府東大阪市】

ひがしおおさか



東大阪市は、金属製品を中心に多種多様な基盤的技術産業が集積し、中小企業の活動が地域産業・経済を支えてきた我が国でも有数のモノづくりのまちである。基盤的技術産業を始めとするモノづくり企業の集積の維持・発展を図るため、工場を地域外に移すべき「移転促進地域」から除外する特例措置により、地域の製造業の競争力を再生する。

< 工業再配置促進法の移転促進地域からの除外 >

・今後3年間の雇用創出効果 800人強

### みやぎIT人材すくすく特区【宮城県】



IT関連試験を受けやすくする特例措置を活用して「IT人材の裾野拡大」という地域の課題を克服する。これにより、「県民のだれもが、いつでも、どこでも必要な情報を入手・活用し、創造・発信ができる地域経済の創造」、「IT化による県内産業構造の変革、IT関連産業の集積等による活力豊かな地域経済の実現」を達成する。

< 講座修了者に対する初級システムアドミニストレータ試験の一部免除 >

< 講座修了者に対する基本情報技術者試験の一部免除 >

・県内の若年IT人材の輩出による地域産業の活性化の促進

・IT活用による県民生活に関する情報化の推進

・産業の情報化、IT関連産業の集積促進

## 2. 環境・新エネルギー関係特区

### 福岡水素利用技術研究開発特区【福岡県、福岡市】



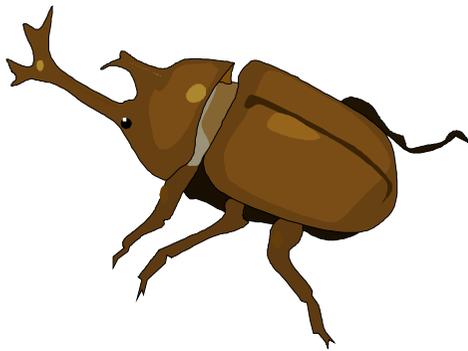
九州大学を対象区域として、代替措置を講じることによって高圧ガス保安法に係る安全確保のための高圧ガス設備の技術上の基準の一部緩和を行う特例措置により研究開発環境の整備を図り、産官学が連携した福岡水素エネルギー戦略会議を中核として水素関連企業や国等の研究所の誘致を促進し、水素利用技術研究開発の世界的拠点を目指す。

#### < 高圧ガス設備に対する技術上の基準の変更の容認 >

- ・水素エネルギー社会(燃料電池発電等による効率的な分散型エネルギー供給)構築に係るミニモデルとしての「水素キャンパス(実証フィールド)」を実現

## 3. 農業・都市農村交流特区

### 久留米カブトムシ<sup>くるめ</sup>特区【福岡県久留米市】



家畜排せつ物の適正管理義務に係る特例措置により、環境への悪影響がない場合に限りカブトムシの飼育のための野積み<sup>くるめ</sup>を可能とし、小中学校等へのカブトムシの配布という酪農家のボランティア活動を継続する。これにより、青少年の健全育成の推進とカブトムシを橋渡し役とした都市と農村の交流を促進する。

#### < 環境影響を排除しての家畜排せつ物を利用した昆虫飼育の容認 >

- ・青少年の健全育成並びに児童等に対する教育に大きく寄与

## 元気なはままつ農業特区【静岡県浜松市】



特例措置を活用して農業に参入する食品製造販売や給食調理等の事業者が、堆肥等を用いた土づくりの推進や化学肥料・農薬使用量の削減等を行い、自ら作った安心・安全・新鮮な農産物を地元で生産・加工・消費する流れづくりを推進する。地域としても、環境負荷軽減と新鮮で安心・安全な農作物を市民に提供する「環境保全型農業」の推進を図る。

### < 株式会社等の農業経営への参入の容認 >

- ・遊休農地(耕作放棄地)約47haの有効活用
- ・農業産出額や加工施設の建設費、直売所売上等域内売上 約19億円の増大
- ・約46名の雇用の創出 (～平成21年)

## 4. 生活福祉特区

### みやぎ地域生活支援デイサービス特区【宮城県】



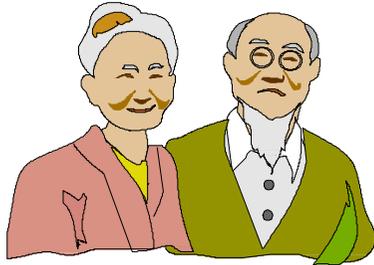
知的障害者及び障害児が「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」を実現するために、特例措置を活用して、利用者の身近な所でデイサービスなどの多様なサービスを受けられる環境を確保するとともに、多様な利用者の交流を促進することにより、生活の質の向上を図る。

### < 指定通所介護事業所等における知的障害者及び障害児の受入 >

- ・身近な地域においてサービス利用が可能となることによる利用者の負担の軽減
- ・デイサービスの利用機会の増加や利用者同士の相互のかかわり等を通じた利用者の生活の質の向上

みさわ

## 三沢市サテライト型居住施設特区【青森県三沢市】



特例措置を活用して郊外に設置されている大規模な特別養護老人ホームの機能の一部を市内住宅地で小規模に分散することにより、入居者が希望する住み慣れた地域での生活を確保するとともに、施設周辺地域の人々との密接な交流を図ることができる環境づくりを目指す。

### < サテライト型特別養護老人ホームの設置の容認 >

- ・施設周辺の地域と密着した福祉施策の充実
- ・地域全体の活性化、高齢者福祉の充実した魅力あるまちづくりの推進

## 6. まちづくり関連特区

すいた      ねやがわ

## 大阪元気コミュニティ創造特区【大阪府、吹田市、寝屋川市】



資本要件1000万円を免除する特例措置により、地域通貨の発行にかかる手続きやコストの軽減を図るとともに、府や市からも、資金面に加え、人材育成や拠点提供等の支援を行い、NPO法人等による地域通貨の取組みをさらに活発化し、元気コミュニティを創造する基盤である「地域の住民一人ひとりが地域の課題に主体的に向き合う「つながり」」を構築する。

### < 「地域通貨」を発行するNPO等への事前登録要件の緩和 >

- ・コミュニティ活動の担い手の創出  
1万9千人(平成16年)      2万6千人(平成20年)
- ・〔地域通貨発行額〕 1,345千円(平成16年)      10,380千円(平成20年)
- 〔支えあう人数〕 1,130人(平成16年)      8,160人(平成20年)

## 岐阜市 人と地球にやさしい公共交通利用促進特区【岐阜県岐阜市】



市や警察の他、地域住民、事業者等からなる地域参加型の協議会を設立し、公共交通機関等の利用促進のための計画を策定する。この計画に基づきバス優先レーンの導入等の交通規制を警察が実施することで、公共交通の定時性の高い走行・利用環境を整備するとともに、バスやタクシー等のネットワーク化を推進し、利便性の高い公共交通を実現する。

< 地域参加型協議会が策定した計画に基づく交通規制の実施 >

- ・市民の公共交通に対する意識の高まり
- ・地域全体で公共交通について考える環境の創出

## 来てみて福井けいりん特区【福井県福井市】



特定の開催日に福井競輪場の入場料を無料化し、ファンへの感謝の意味も込めて場内でイベント等を実施することで競輪場への集客力を高め、競輪場入場者及び売上減少解決への突破口とする。

< 競輪場の入場料の無料化 >

- ・誰もが安心して快適に過ごせる施設として、競輪場のイメージ刷新
- ・1,500人前後で推移している1日平均入場者を当面2,000人まで回復
- ・交流人口の増加